

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 株式会社G&Eかんぱにー ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・性別・年齢・国籍等による差別禁止を社内及び協力業者等で共有。 ・経営者による相談窓口の設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメント禁止を社内(就業規則に明記、研修の開催)及び協力業者等で共有しハラスメントを予防するための措置をしている。 ・経営者による相談窓口の設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・長時間労働の防止のために、施主や元請先に対して説明し理解いただき遵守をしている。 ・従業員とは、36協定を取り交わしている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)		【予定】	・外国人労働者を雇い入れた場合、適切な処遇や労働環境を用意する。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・労働災害を防止する取り組みを積極的に実施すると共に、所属している組合で実施されている労働安全大会及び、交通安全大会に積極的に参加をして、労働災害及び、交通災害を起こさない努力をしている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための社内研修を実施し、経営者による定期的確認の実施			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)		【予定】	・多様な人材が活躍できるような社内環境を整備していく。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・従業員に必要な技能等を計画的に向上させていくために、職業訓練校などの教育機関を利用していく。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・雇用形態によって、労働時間や有給消化などに差が生じないように管理すると共に、社内で教育を実施していく。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・従業員の健康診断を励行している。また、再検査の実施や、医療機関等の健康相談などへの参加を促している。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・自社の企業活動により発生する廃棄物は、計画的に削減を図る共に、許可業者に処理委託をし、さらに、マニフェストにより最終処分されるまで管理をしている。										11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・事務所の電気使用量、作業車の燃料消費量等の事業活動におけるエネルギー消費を常に把握している。特に、作業車の燃料消費量に関しては管理と削減を徹底している。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)		【予定】	・工事における省エネルギーを推進している。 ・【予定】社用車を電気自動車やプラグインハイブリッド電気自動車などの低公害車に順次、切り替えていく。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・法令で選定されている有害化学物質を把握している。 ・有害化学物質を自社の企業活動により廃棄する場合、MSDSを事前に提出し、廃棄物処理業者の指導、協力のもと、適切な処理をおこなっている。			3.9			6.3				11.6	12.4						

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			・事業活動において生態系に影響を及ぼさない様に配慮している。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			・事業活動において3Rを推進する共に、資材の購入や事務用品などの消耗品の購入の際に、廃棄物が大量に出ないような梱包や包装をされている商品を選んでいる。												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・事業活動における水の使用量を常に把握し、無駄遣いの無いよう、管理をしている。 ・環境に負荷のかからない洗剤を使用する等水資源の汚染防止に配慮していく。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）		【予定】	・エコアクション21の認証取得を2029年度までに目指す。				3.9		6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）		【予定】	・自社の環境保全に対する取り組みをホームページやSNS等を利用して、発信していく。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・本社(自宅兼用)に太陽光パネルと蓄電システムを設置し、再生可能エネルギーの積極的に利用している。							7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・事務所で使用しているコピー用紙や封筒、お客様にお出しするコーヒー、現場で資材として利用する合板など、森林認証やフェアトレード等の認証製品を利用している。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・自社でのルールを制定して、協力業者への同意事項していくと共に定期的に研修会を開催し、情報を共有している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・自社でのルールを制定して、協力業者への同意事項としていくと共に定期的に研修会を開催し、情報を共有している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）		【予定】	・自社のロゴマークやイラストなど、2029年度を目途として商標登録を取得を目指す。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			・自社での個人情報管理基準を設定すると共に、自社で扱っている個人情報については、警備会社による事務所の警備、パソコン、データのパスワード設定、重要書類の保管は鍵付の保管庫によって、適切に管理をしている。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ （任意）			・自社の取引業者に対して、紛争鉱物の取り扱いがないことを定期的の確認していく。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・当社の遵守事項を明確化すると共に、当社のサプライチェーンに、人権侵害の無い、環境負荷をかけない認識の共有が伝わるように、定期的に発信していく。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）		【予定】	2027年中に「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3					8	9	10							17

[illegible]

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【廃棄物】【生物多様性】【天然資源の持続的利用】【環境配慮】 自社太陽光発電所で発生する雑草を堆肥化し、化学肥料に頼らない安全な農法に取り組んでいる		自社太陽光発電所で発生する雑草を堆肥化することにより、廃棄物削減と資源の循環を促進。この堆肥を土壌に戻すことにより炭素が長期的に土壌に蓄積されやすくなるため、二酸化炭素の大気中への放出が抑制されます。また、土壌の生物多様性が増すことや、微生物と小動物の住処として土壌環境が整えられます。												12	13		15		

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定